

御 礼

昨年十月に発生しました、令和元年東日本台風では、河川の決壊による広範囲の浸水により、住宅等の被害に加え、収穫を終えた水田と農作物に甚大な被害をもたらし、大量の災害廃棄物が発生いたしました。

特に想定をはるかに超える大量の稲わらが発生し、本市の施設だけでは処理が追いつかず、貴会のご英断により稲わら処理をお引き受けいただきましたことに、衷心より感謝申し上げます。

おかげさまをもちまして、本年十一月四日に約二万二千トンの稲わらの処理が完了いたしました事に厚く御礼申し上げます。

本市の基幹産業である農業は私どもの生命を支える「食」の源であり、また、安心して暮らせる「環境」を守ることが私の使命と思いい全力で取り組んでまいりました。

今後も世界農業遺産に認定された「大崎耕土」を次世代に引き継ぐためにも、先人たちが築いてきた農業基盤を守り、災害に強いまちづくりに邁進してまいります。

本来であれば直接お伺いし、ごあいさつを申し上げるところではございますが、コロナ禍の折、略儀ながら、書中をもって御礼いたします。

特別区長会会長 山崎 孝明 様

令和二年十一月吉日

宮城県大崎市長 伊藤 康志